

8月15日終戦記念日に

78年前、日本は平和国家の道を進む決意をしたのではなかったのか
今この国は道を誤っていないか？ 原点に戻って考えよう

ポイント・オブ・リターン

航空用語らしいですが、回帰不能点つまり、搭載燃料・風向きなど計算してここから先へ行く
と出発地に引き返せない地点を言うそうです。

日本の安全保障の変遷

先の大戦で壊滅的なダメージを受けた日本は、二度と戦争をしないことを決意し憲法にその
立場を明確にし、平和国家への道を進むことを決めました。

日本の安全保障政策の基本は、専守防衛でした。しかしこの間、大きく日本の安全保障政策
は転換してきました。1992年PKO協力法による自衛隊の海外派遣、2000年イラクでの対テ
ロ戦争支援の名でアメリカの戦争に協力してきました。紛争解決に武力の行使など禁止してい
る憲法9条をないがしろにした政策を次々進めてきました。

平和国家の道を大きく外れてゆく

さらに大きく舵を切ったのが、安倍政権では無いでしょうか。多くの学者、文化人、国民の反
対を押し切って強行に成立させた安保関連法は集団的自衛権を基に戦争に参加できるというも
のでした。これで他国の戦争に巻き込まれる可能性がさらに大きくなりました。

リターン・ポイント大きく行き過ぎていないか！

岸田政権は専守防衛の国是を大きく逸脱する施策を次々打ち出してきました。抜本的に防
衛力の強化を図るとして敵基地攻撃にも言及しています。戦後78年たって、リターン・ポイン
トに近づいています。ポイントを過ぎてしまったら、戻ることはできないでしょう。

今こそ私たちが声を上げ、この状況を食い止めなければなりません。

憲法9条という平和燃料があるうちに